

# Publishers

パブリッシャーズ

図書出版かなえの Publishers とは、各出版社の優良コンテンツを電子書籍化し、大学・公共図書館が導入している「電子図書館サービス」に搭載する販売モデルです。研究者や学生の皆様はもとより、一般読者にも電子図書館の便利さをご理解いただく、コンテンツサービスです。

＊第1回配本「昭和3年」、2026年4月刊行！

解説…高崎経済大学 富澤一弘（敬称略）

近代政治史・政党史に関する貴重な史料のひとつ、『政友』（立憲政友会の月刊機関誌）のいわば素材として日刊「政友特報」（大正十五年～昭和九年以降、下限未詳）。その史料が、当時、政友会の群馬県支部幹事長であった星野氏の土蔵から一九九二年に大量に見えられ、存在していたことが明らかになった。本書は、印刷書籍として刊行されている『政友特報』（芙蓉書房出版刊）の未刊部分、昭和三年、七年も原本より電子書籍化し、発見されている「政友特報」（昭和三年～九年）の全ての原本から電子書籍化する企画である。  
\*（昭和五年・六年のみ芙蓉書房出版刊より電子化）

群馬県の旧家の土蔵から発見された、戦前を代表する政党「立憲政友会」が発行していた「政友特報」。朝日新聞の一面で報道され、「日本の近代化の進み方と政党のかかわりを解明する貴重な史料」と言われた日刊誌を電子書籍化！

# 政友特報

電子版 全7回配本



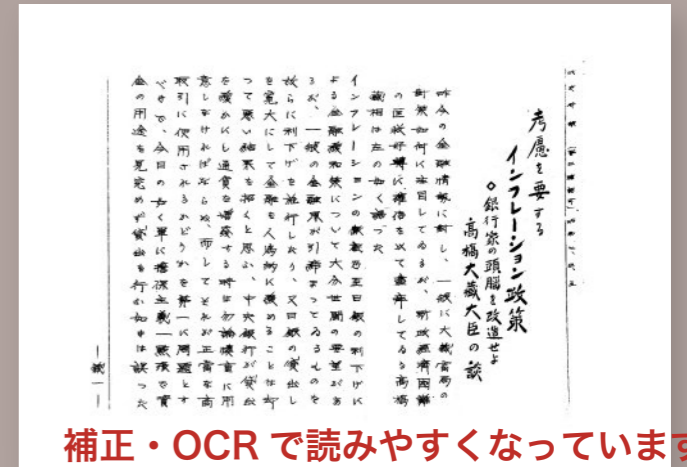
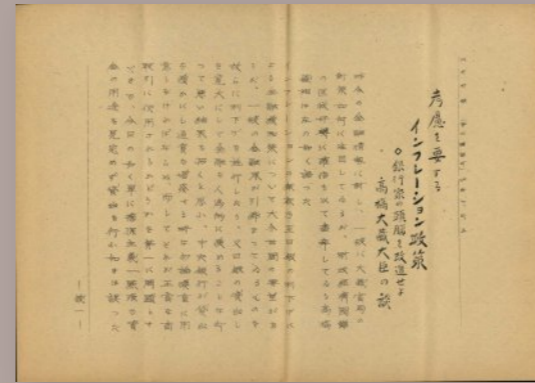
月刊機関誌「政友」に対して、「政友特報」は週五日の発行であって、その豊かな情報量は、「政友」本体をはるかに凌ぐものがある。また「政友」にあっては、その論調が抑制され、修正された記事・主張も、「政友特報」では、実に直裁的に掲載されている。

さらに紙幅の関係上、「政友」誌上から捨象された情報、そして、その結果を、一般党员および、読者としての後世の研究者が知り得なかった事象が『政友特報』では、未加工の材料のまま、大量に記録されている。

つまり、立憲政友会本部の活動や主張とともに、中央政界の動向をリアルタイムで綴る、いわば「日誌」の如き史料であって、立憲政友会研究はもとより、昭和初期政治史・政党史研究上、第一級の史料として位置づけられるだろう。

## 《立憲政友会》

立憲政友会は、1900年に伊藤博文が中心となって結成した明治・大正・昭和戦前期の日本の政党。原敬や西園寺公望を総裁に擁し、積極財政を掲げて立憲民政党と二大政党制を形成。昭和に入り五・一五事件で総裁の犬養毅が暗殺されたことや、軍部の台頭により影響力を失い、1940年（昭和15年）に解党して大政翼賛会に合流した。



補正・OCRで読みやすくなっています

【お奨めします】 近現代史、政治学、政党史、大学図書館、公共図書館

### 《政友特報 電子版》全7回配本

※1アクセスの価格です。（3アクセスは、1アクセスの倍額になります。）

■ 第1回配本	昭和3年	本体価格 110,000円(税別)	587頁	978-4-76759-794-1	2026年4月刊行予定
■ 第2回配本	昭和4年	本体予価 181,500円(税別)	1,872頁	978-4-76759-795-8	2026年9月刊行予定
■ 第3回配本	昭和5年	本体予価 220,000円(税別)	2,644頁	978-4-76759-796-5	2026年12月刊行予定
■ 第4回配本	昭和6年	本体予価 209,000円(税別)	2,440頁	978-4-76759-797-2	2027年4月刊行予定
■ 第5回配本	昭和7年	本体予価 154,000円(税別)	942頁	978-4-76759-798-9	2027年9月刊行予定
■ 第6回配本	昭和8年	本体予価 181,500円(税別)	1,800頁	978-4-76759-799-6	2028年4月刊行予定
■ 第7回配本	昭和9年	本体予価 176,000円(税別)	1,620頁	978-4-76759-800-9	2028年9月刊行予定

本書の印刷書籍版をご希望の場合は、メールアドレス (info@fuyoshobo.co.jp) または、FAX (03-5579-8786) で芙蓉書房出版へご注文ください。

### 株式会社かなえ

〒171-0014 東京都豊島区池袋2-30-18-202  
TEL: 03-6912-7238 FAX: 03-6912-7239  
Email: info@kanae-book.co.jp  
URL: https://kanae-book.co.jp



取扱店



# 昭和3年 10月発行の主な目次

「政友特報」保存状況 (現在確認されているもの)

	昭和3年	昭和4年	昭和5年	昭和6年	昭和7年	昭和8年	昭和9年
1月				23日分 1495号～	1日分 1816号～	13日分 2099号～	
2月			23日分 1221号～	23日分 1518号～		16日分 2122号～	
3月		24日分 944号～	24日分 1244号～	26日分 1541号～	3日分 1845号～	11日分 2145号～	
4月		25日分 968号～	24日分 1268号～	24日分 1567号～	10日分 1874号～	16日分 2172号～	6日分 2479号～
5月		27日分 993号～	27日分 1292号～	26日分 1591号～	17日分 1892号～	17日分 2192号～	5日分 2503号～
6月		25日分 1020号～	25日分 1319号～	26日分 1618号～	12日分 1919号～	20日分 2219号～	2日分 2521号～
7月		26日分 1045号～	27日分 1344号～	27日分 1644号～	15日分 1946号～	18日分 2246号～	
8月		27日分 1072号～	26日分 1371号～	26日分 1671号～	13日分 1976号～	22日分 2271号～	
9月		24日分 1099号～	25日分 1397号～	25日分 1697号～	12日分 2001号～	15日分 2298号～	7日分 2602号～
10月		26日分 825号～	26日分 1422号～	26日分 1722号～	5日分 2026号～	20日分 2324号～	23日分 2626号～
11月	22日分 851号～		24日分 1447号～		9日分 2052号～	19日分 2351号～	2日分 2651号～
12月	23日分 873号～		24日分 1471号～		9日分 2075号～	10日分 2374号～	
合計	71日分	178日分	275日分	252日分	106日分	197日分	45日分

小選挙区制の實際的利益

- 825号 (10月1日発行)
  - ◇我が裁判制度の一大革新
  - ◇陪審法愈々一日より実施
  - ◇原司法大臣談話の概要
  - ◇陪審法の運用を誤るなかれ
  - ◇崩壊途上の民政党
  - ◇久々二名脱党、続いて十余名に及ばん
  - ◇陪審法実施を原氏墓前に報告
  - ◇明治結党三十年祝賀会開催
  - ◇政友会総務会の申合せ
- 826号 (10月2日発行)
  - ◇市立師範学校の認可
  - ◇師範教育改善案と共に実現されん
  - ◇小作争議の進歩的新傾向
  - ◇漸次合法的となり来る
- 827号 (10月3日発行)
  - ◇両税委議に伴ふ税整案要綱決定
  - ◇新税額は四千万円
  - ◇所得税増額五百万円
  - ◇政友会の恩給制度改正案
  - ◇小委員会にて要綱決定
- 828号 (10月4日発行)
  - ◇国民負担の軽減約五千万円
  - ◇両税を地方に移譲の結果
  - ◇中等教育改善案は一年間実施を猶予
  - ◇今後の米価対応策
  - ◇政府も政友会も米価の成行に注視
- 829号 (10月5日発行)
  - ◇首相与党四長老を招く
  - ◇対支問題其他の説明
  - ◇中等教育改善案審議
  - ◇文政審議会で勝田文相説明
- 830号 (10月6日発行)
  - ◇下士卒優遇案承認
  - ◇給与増額予算承認さる
  - ◇米作統計改善の議
  - ◇統計の正確化が第一の問題
- 831号 (10月8日発行)
  - ◇政友会に有利な政局の前途
  - ◇民政党は勢力を失墜し
  - ◇次期議会は無事に経過
  - ◇日貨排斥無効の実証
  - ◇対支輸出は昨年倍となった
  - ◇皮肉の現象
  - ◇民政党の不心得な態度
- 832号 (10月9日発行)
  - ◇積極政策の真意義
  - ◇幹事長島田俊雄氏談
  - ◇政友会立党以来の大方針
  - ◇動搖の渦中に漂ふ民政党
  - ◇大石大隈仙石等の策動説
  - ◇切崩しも防禦で三ツ巴の暗闘
- 833号 (10月10日発行)
  - ◇新税案の内容を見たら世論は納得すると思ふ
  - ◇三土大蔵大臣談
  - ◇肥料管理案承認されん
  - ◇農林商工両省の意見一致
- 834号 (10月11日発行)
  - ◇愈よ予算閣議の幕
  - ◇多少波瀾があつても結局無事
  - ◇剰余財源で家屋税軽減方針
  - ◇営業収益税の委譲で浮ぶ
  - ◇四百五十万円を振當
- 835号 (10月12日発行)
  - ◇自作農法案の運命
  - ◇農林大蔵妥協の内容
  - ◇結局特別会計で落着か
  - ◇近く米穀委員会を開き米穀法の運用を益々円滑にする
  - ◇農林政務次官 東武氏談
- 836号 (10月13日発行)
  - ◇政友会関東大会
  - ◇十三日甲府市に開會
  - ◇七千余名出席同市稀有の盛況
  - ◇関東大会に於ける田中総裁の演説
  - ◇政友会関東大会の宣言決議
- 837号 (10月15日発行)
  - ◇解決途上の自作農法案
  - ◇農林省の希望事項
  - ◇大蔵省の代案内容
  - ◇妥協案作成の難点
  - ◇対支外交著しく好転
  - ◇志那側漸く前非を悔い改む
  - ◇土方日銀總裁の談
- 838号 (10月16日発行)
  - ◇民政党の動搖尚熾ます
  - ◇又々水久保河野両氏脱党
  - ◇今年度の地方産業資金
  - ◇前年度に比し千五百万円増加
- 839号 (10月18日発行)
  - ◇地方民の窮状を如実に現はす
  - ◇驚くべき地方財政の膨張
  - ◇国税の一部を委譲する外なし
  - ◇農林省讓歩して肥料管理法案解決
- 840号 (10月19日発行)
  - ◇生産公債増発は差支なし
  - ◇高橋是清氏談
  - ◇公債放資誘導の爲め市債の常なき動搖を防止せよ
  - ◇張り子のやうな民政党
  - ◇政友会総裁 秦豊助氏談
  - ◇土台骨を入れ換へねば永久に駄目
- 841号 (10月20日発行)
  - ◇政友会の選挙法改正方針
  - ◇婦人参政権は猶よく研究すること
  - ◇本年度の外国貿易より見たる国際貸借改善の傾向
  - ◇商工政務次官 吉植庄一郎氏談
  - ◇日支貿易の将来と新しい販路の開拓
- 842号 (10月22日発行)
  - ◇精神的に崩壊せる民政党
  - ◇大隈侯の政界乗出し具体化
  - ◇大阪愛知の有力者挙つて脱党
  - ◇金解禁実行の要件
  - ◇高橋是清氏談
  - ◇用意と自信さへあれば心配なし
- 843号 (10月23日発行)
  - ◇金解禁即行建議の理由
  - ◇金解禁断行決議は財界好転の実証
  - ◇蔵大臣 三土忠造氏談
- 844号 (10月24日発行)
  - ◇予算に対する政友会の努力
  - ◇幹部総出で八方に奔走
  - ◇商工業改善答申案内容
  - ◇商工審議会から答申案提出
- 845号 (10月25日発行)
  - ◇明年度の鉄道予算
  - ◇幕末志士の墳墓を修理
  - ◇田中首相の美挙
- 846号 (10月26日発行)
  - ◇我国財政の現状
  - ◇三土大蔵大臣の説明
  - ◇中等教育改善案に関する一種二種の可否質問
- 847号 (10月27日発行)
  - ◇民政党内の低気圧
  - ◇低気圧の中心は大隈信常侯
  - ◇又々低利資金を融通に内定
  - ◇現内閣の預金部資金運用奏功
- 848号 (10月29日発行)
  - ◇予算編成は従来にない成績
  - ◇田中首相三土蔵相交々語る
  - ◇新宗教法案の要点 名称は宗教団体法
  - ◇国有境内地讓与法は分離
- 849号 (10月30日発行)
  - ◇明年度予算編成の苦心
  - ◇十七億五千万円に止むるの已むなき理由
  - ◇金解禁断行の機は熟した
  - ◇今や各方面への影響は輕微
- 850号 (10月31日発行)
  - ◇産業振興費六千五百万円
  - ◇三土蔵相から
  - ◇与党幹部に予算の概要を説明
  - ◇政実協定の実行
  - ◇大口氏近く武藤氏と会見

試読できます。こちらから